

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕事の内容	出納事務					
担当部署・課長名	会計	課	出納	係	課長名	川口 荘一

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行	-	2	-
【施策名】 効果的でスリムな行政運営の実現	総合計画書 (ページ)	122			

予算名	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	会計管理費	事業	1	会計事務費
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-------	----	---	-------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ①納税者等が納めた税金等の収入事務 ②債権者への支払事務	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①収入票枚数 ②支出命令票枚数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①収入に伴う伝票等(収入票等)を適切に処理する。 ②支出に伴う伝票等(支出命令票等)を適切に処理する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①収入票枚数 ②支出命令票枚数
	③ そのために何をしましたか。 ①収入に伴う伝票等(収入票等)を適切に処理する。 ②支出に伴う伝票等(支出命令票等)を適切に処理する。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 伝票処理率

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	件	①11,504 ②37,972	①10,890 ②41,438	①10,973 ②40,442	/
	成果指標	②の数値	件	①11,504 ②37,972	①10,890 ②41,438	①10,973 ②40,442	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	各課から提出される伝票枚数の結果なので目標設定になじまない。				
	活動指標	③の数値	件	①11,504 ②37,972	①10,890 ②41,438	①10,973 ②40,442	/

3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円				
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	3.0	3.0	3.0	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	24,699,000	24,759,000	24,732,000		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	24,699,000	24,759,000	24,732,000		

この仕事における市の裁量	市の裁量はない
--------------	---------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	地方自治法で定められている事務であるため、開始時期は不明。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	特になし。

仕 事 の 内 容	出納事務				
担当部署・課長名	会計	課	出納	係	課長名 川口 荘一

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし。				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
特になし。					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容				
	特になし。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
	特になし。				
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
特になし。					
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	特になし。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	特になし。				
(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。